

# 2018年3月期 決算説明会

 **烧津水産化学工業株式会社**

平成30年5月18日

## 本日の内容

- ① 2018年3月期 業績概要
- ② 中期経営計画の進捗  
及び  
2019年3月期業績見通し

# ① 2018年3月期 業績概要

---

取締役 経営統括本部長  
内山毅彦

---

# 2018年3月期 連結業績概要

(単位：百万円)

	連結				
	2017年 3月期	2018年3月期		前期比	計画比
		計画	実績		
売上高	15,248	15,400	15,810	+562 (+3.7%)	+410 (+2.7%)
営業利益	880	1,000	996	+116 (+13.2%)	△4 (△0.4%)
営業利益率	5.8%	6.5%	6.3%	+0.5pt	△0.2pt
経常利益	876	1,000	998	+122 (+13.9%)	△2 (△0.2%)
当期純利益	591	700	605	+13 (+2.3%)	△95 (△13.5%)
ROE	3.1%	3.5%	3.1%	-	△0.4pt

## ＜連結売上高＞

調味料で一部製品の販売苦戦があったが機能食品及び水産物の販売が伸長し+562百万円と5期振りの増収。

## ＜連結営業利益＞

売上製品構成の変化に伴い収益性が改善し+116百万円、営業利益率は5.8%⇒6.3%と0.5pt改善。

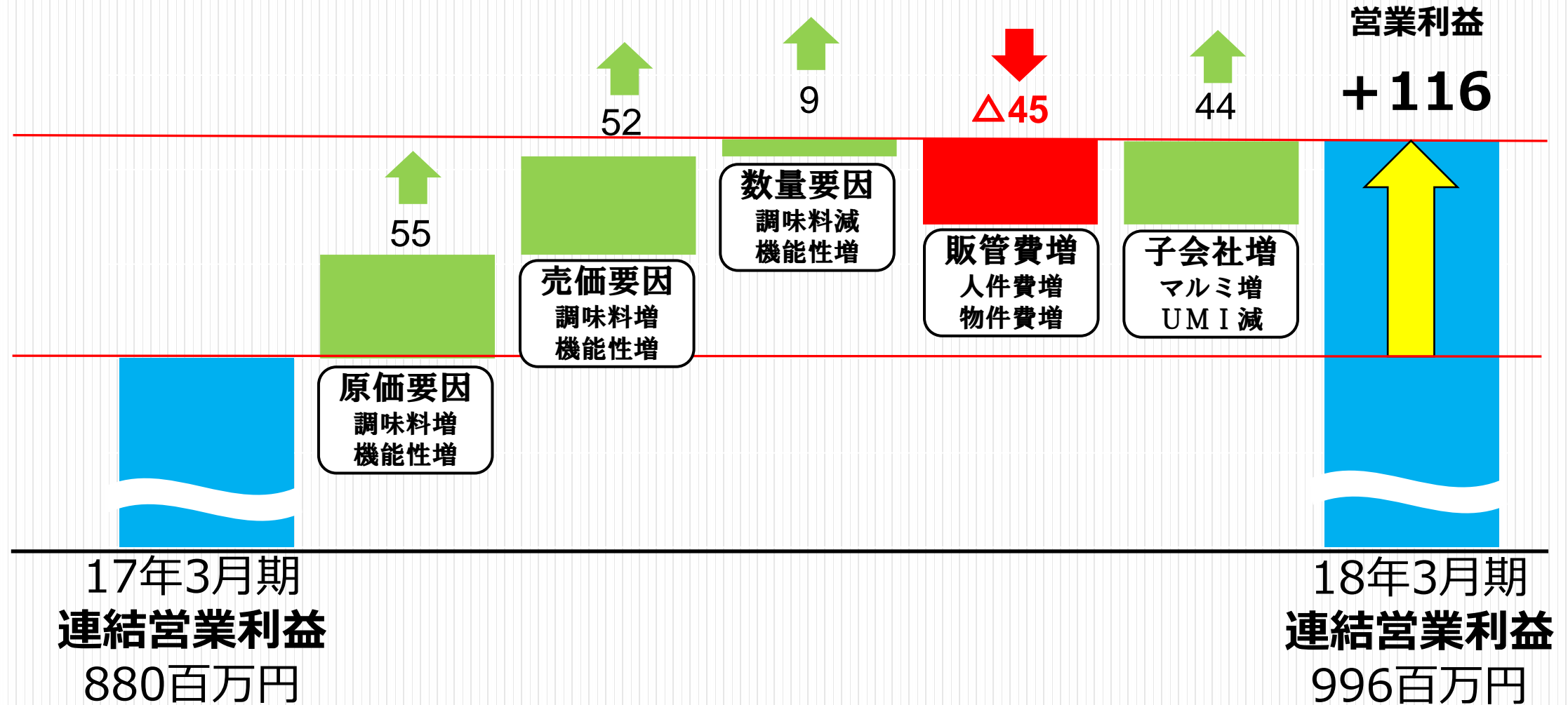
## ＜連結当期純利益＞

旧榛原工場跡地の売却益を特別利益に計上した一方、賃貸資産の契約満了に伴い当該資産の減損損失を計上したこと等により+13百万円(+2.3%)の増益。

ROEは前年と変わらず3.1%。

# 2018年3月期 連結営業利益 増減要因

(単位：百万円)



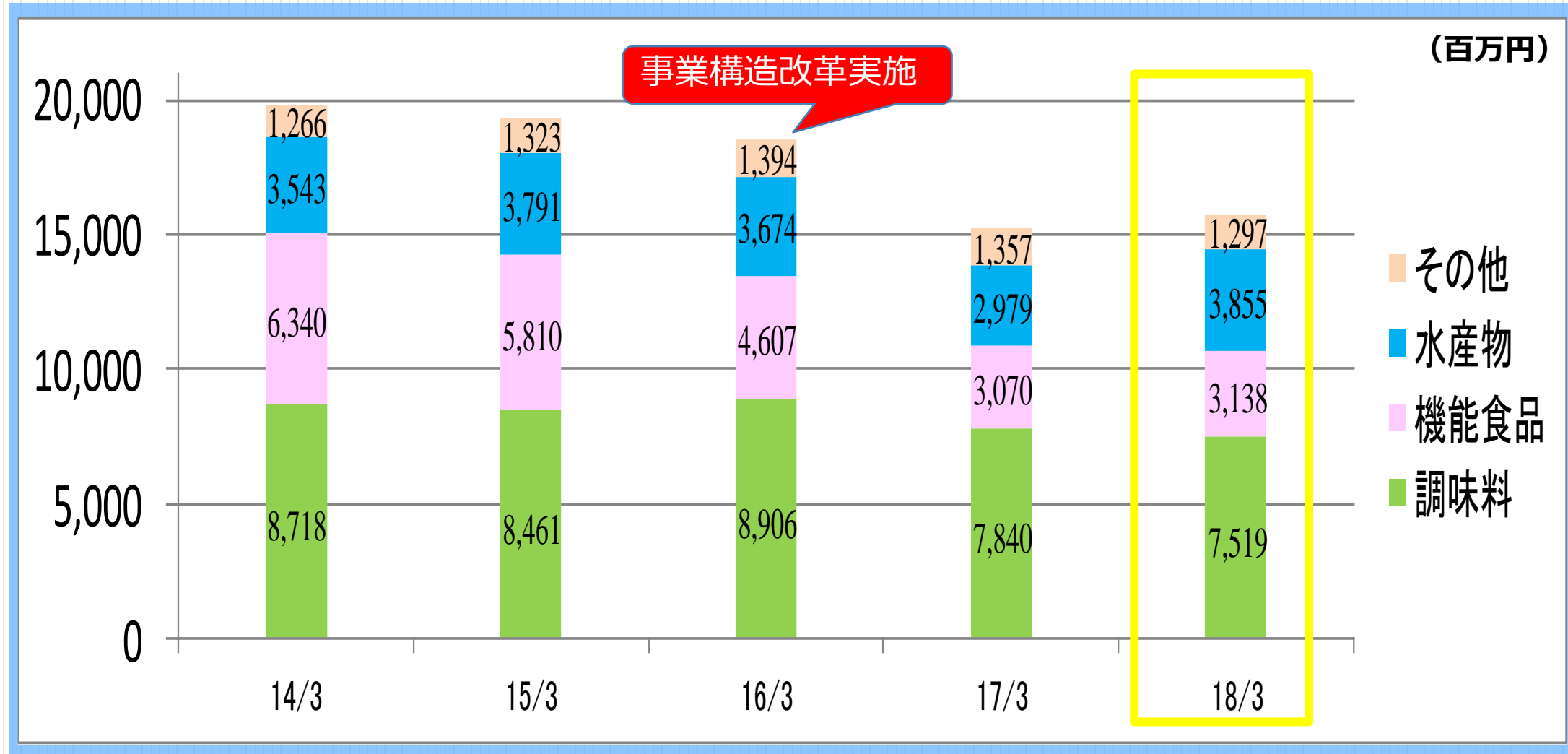
# セグメント別 売上高

(単位：百万円)

	17/3期	18/3期	
	売上高	売上高	前期比
調味料	7,840	7,519	△320
機能食品	3,070	3,138	+67
水産物	2,979	3,855	+875
その他	1,357	1,297	△59
合計	15,248	15,810	+562

- ①調味料は、液体調味料は伸長したものの粉体調味料、香辛料の減少により △4.1%
- ②機能食品は、主力のN-アセチルグルコサミン等が減少した一方、アンセリンなどの売上が増加し +2.2%。
- ③水産物は、OEM加工製品販売が大幅に伸長したほか国内原料販売が堅調に推移し +29.4%
- ④その他は、化粧品通販事業を子会社に集約し販売品目の整理などを行ったことにより △4.4%

# セグメント別連結売上高推移（2014年3月期～2018年3月期）



# セグメント別 営業利益

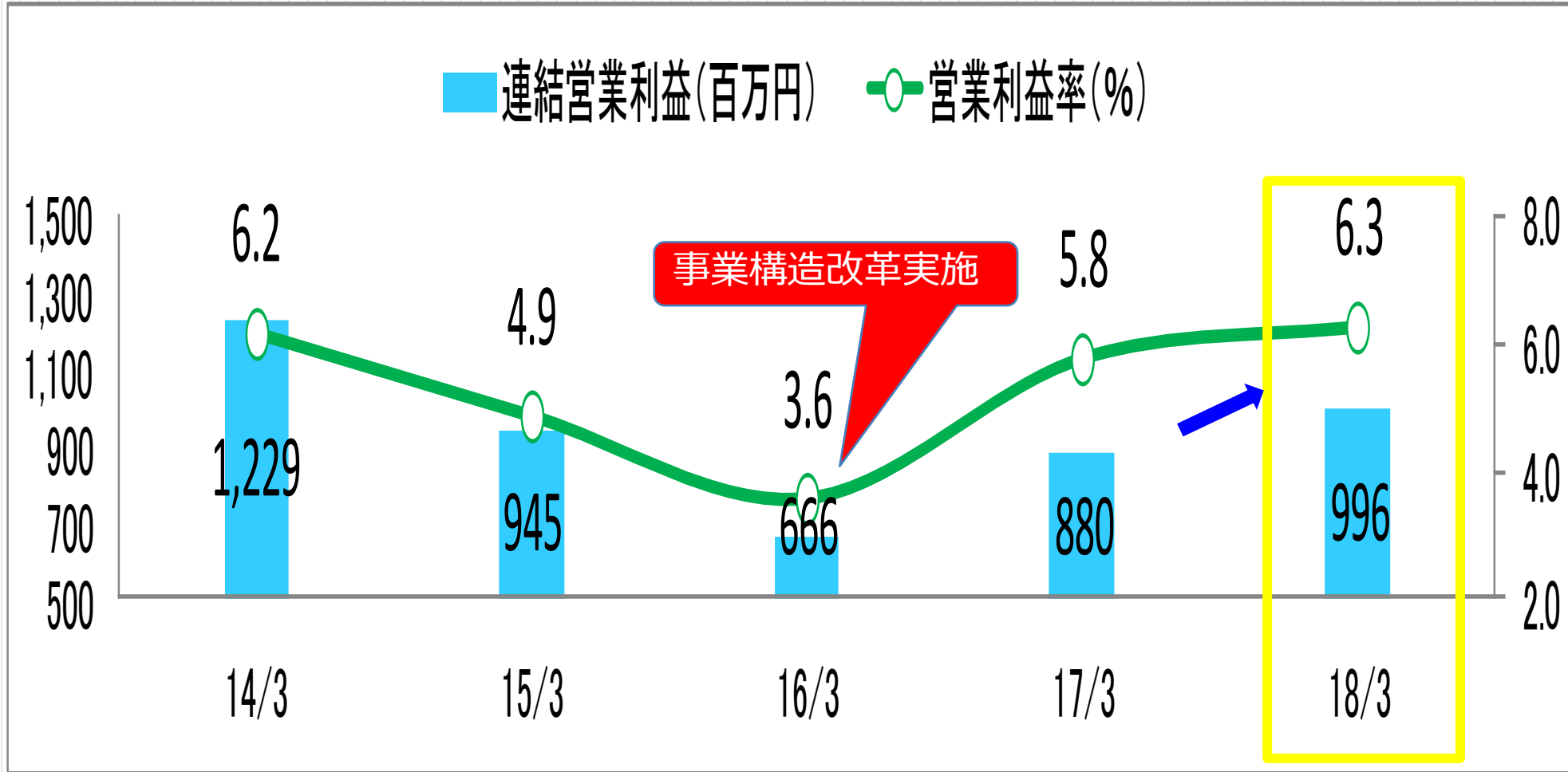
(単位：百万円)

	17/3期	18/3期	
	営業利益	営業利益	前期比
調味料	828	848	+19
機能食品	542	648	+106
水産物	△30	33	+64
その他	61	80	+18
全社	△521	△613	△91
合計	880	996	+116

- ①調味料は、低採算品の削減及び生産性の向上により収益性が改善し営業利益 +2.4%
- ②機能食品は、売上構成が変化したことにより収益性が向上し+19.6%。
- ③水産物は、売上の大幅な伸長や販管費の削減により33百万円。
- ④その他は、化粧品通販事業の広告宣伝費の削減などにより+29.8%。



# 連結營業利益推移 (2014年3月期~2018年3月期)



# 2018年3月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		17/3	18/3	増 減	主 な 内 容
資 産 の 部	流動資産	13,280	14,449	+1,168	現金及び預金 +1,080 受取手形、売掛金 +431 たな卸資産△286 その他流動資産△77
	固定資産	8,859	8,644	△215	建物及び構築物 △176 機械、運搬具 △334 土地△210 投資有価証券 +426
	資産合計	22,140	23,093	+953	
負 債 ・ 純 資 産 の 部	流動負債	2,597	2,804	+207	未払法人税等+173 設備関係支払手形・未払金 +59 未払消費税等+56 支払手形及び買掛金△96 短期借入金 △40
	固定負債	371	515	+144	繰延税金負債 +130
	純資産	19,171	19,773	601	利益剰余金 +307 その他有価証券評価差額金 +294
	負債・純資産合計	22,140	23,093	+953	

## ②中期経営計画の進捗 及び

# 2019年3月期業績見通し

---

## 2017年3月期～2019年3月期

# 「 YSK Priority 」

代表取締役社長 山田 潤

---

# 中期経営計画 「YSK Priority」 基本戦略と経営目標

経営ビジョン

• 水産系天然素材メーカーNo.1へ

重点施策

• 収益基盤の確立      新規事業領域の拡大      人・組織機能の強化

経営目標

• YSKグループ：連結売上高170億円、連結営業利益12億円

# 中期経営計画「YSK Priority」の重点施策

3つの柱に経営資源(人・物・金)を集中投入し、成長戦略を描く

① 収益基盤  
の確立

② 新規事業領域  
の拡大

③ 人・組織機能  
の強化

水産系天然素材メーカーNo.1へ

企業理念：天然素材の持つ無限の可能性を追求し、  
“おいしさと健康”を通して豊かな生活に貢献します

## 2018年度 年間テーマ

- ・ 顧客視点、スピードを重視し、企業ブランド価値向上を図る
- ・ 新規業務への挑戦



# トピックス②：通販商品の品揃え強化(UMIウェルネス) YSK

## 化粧品：ナグプラス「オールインワンエッセンス」



N-アセチルグルコサミンを配合した乳液タイプのオールインワン美容液。当社では、長年N-アセチルグルコサミンを研究しており、健康や美容に様々な機能を有することを発見しています。N-アセチルグルコサミンはヒアルロン酸の構成成分。そのN-アセチルグルコサミンを高配合した本商品は、肌にうるおいを与える効果と乾燥による小ジワを目立たないようにする効果が確認されています。

(2018年2月販売開始)

## サプリメント：「アンセリンEX」

UMIウェルネスでは、2009年からアンセリンを配合したサプリメント「海の子カラ アンセリン」を販売してきましたが、この度、お客様に更に満足していただくため、キトサン、クエン酸、発酵大麦エキスの3成分をプラスして、「アンセリンEX」としてリニューアル発売。（2018年2月販売開始）





# 2019年3月期 連結業績予想（概要）



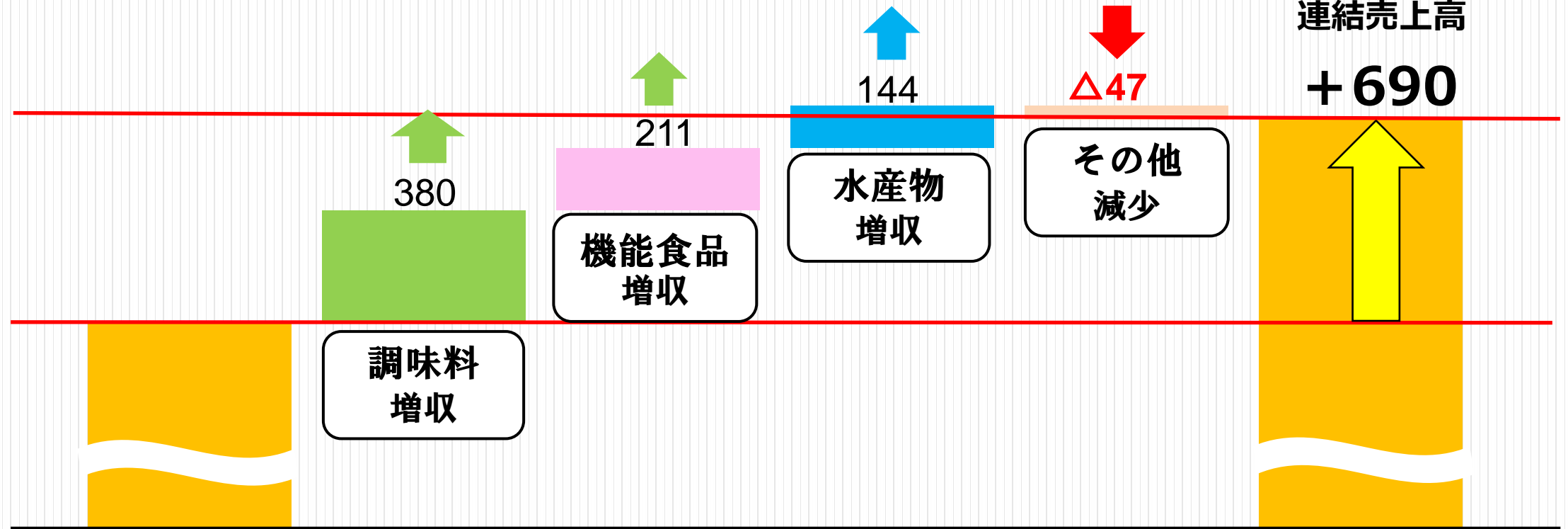
（単位：百万円、％）

	2018年3月期（実績）			2019年3月期（計画）					
	上期	下期	通期	上期計画	前年同期比	下期計画	前年同期比	通期計画	前年同期比
売上高	7,553	8,256	15,810	8,000	447	8,500	244	16,500	690
営業利益	403	593	996	330	△73	710	117	1,040	44
営業利益率	5.3%	7.18%	6.30%	4.13%	△1.2pt	8.35%	1.2pt	6.30%	-
経常利益	432	565	998	330	△102	710	145	1,040	42
当期純利益	290	314	605	220	△70	480	166	700	95
ROE			3.1%					3.5%	+0.4pt

※ 2019年3月期は上期に研究開発投資、システム投資、通販広告投資を積極的に実施。物流費の上昇は響くものの、下期以降の販売拡大により成長戦略を描く。

# 2019年3月期 連結売上高 増減予想

(単位：百万円)

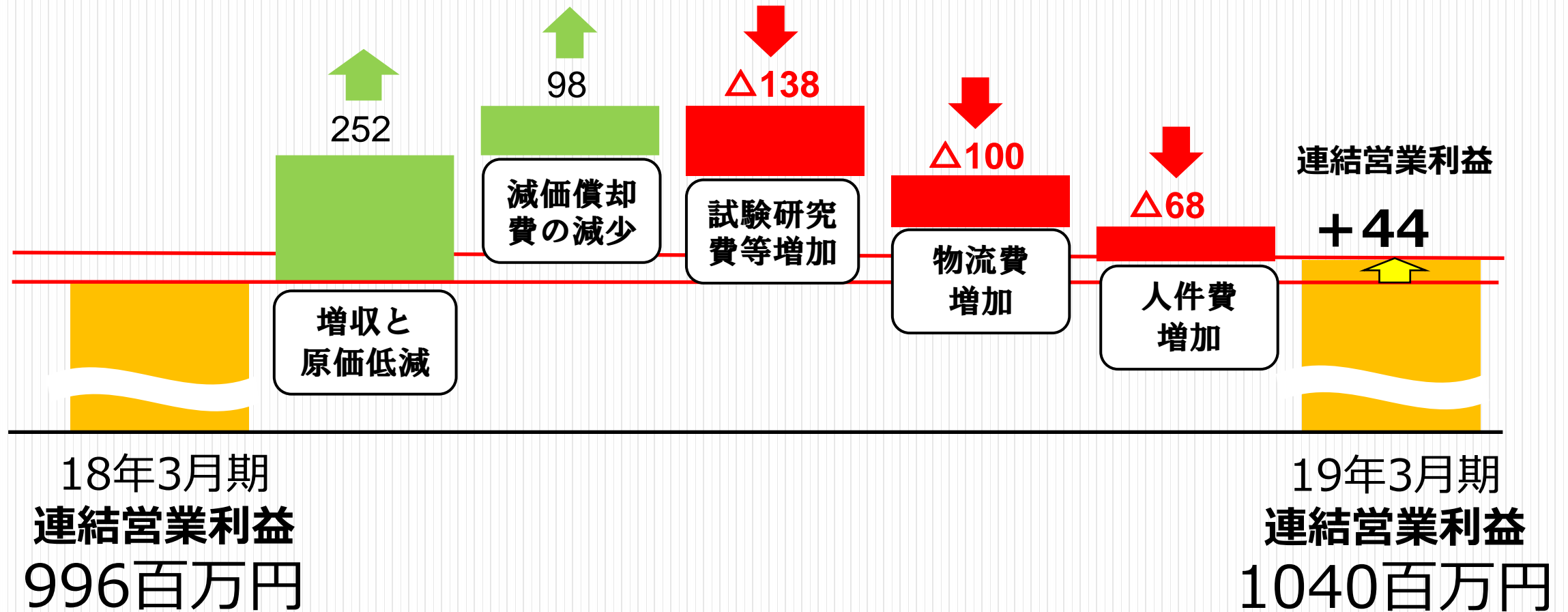


18年3月期  
連結売上高  
15,810百万円

19年3月期  
連結売上高  
16,500百万円

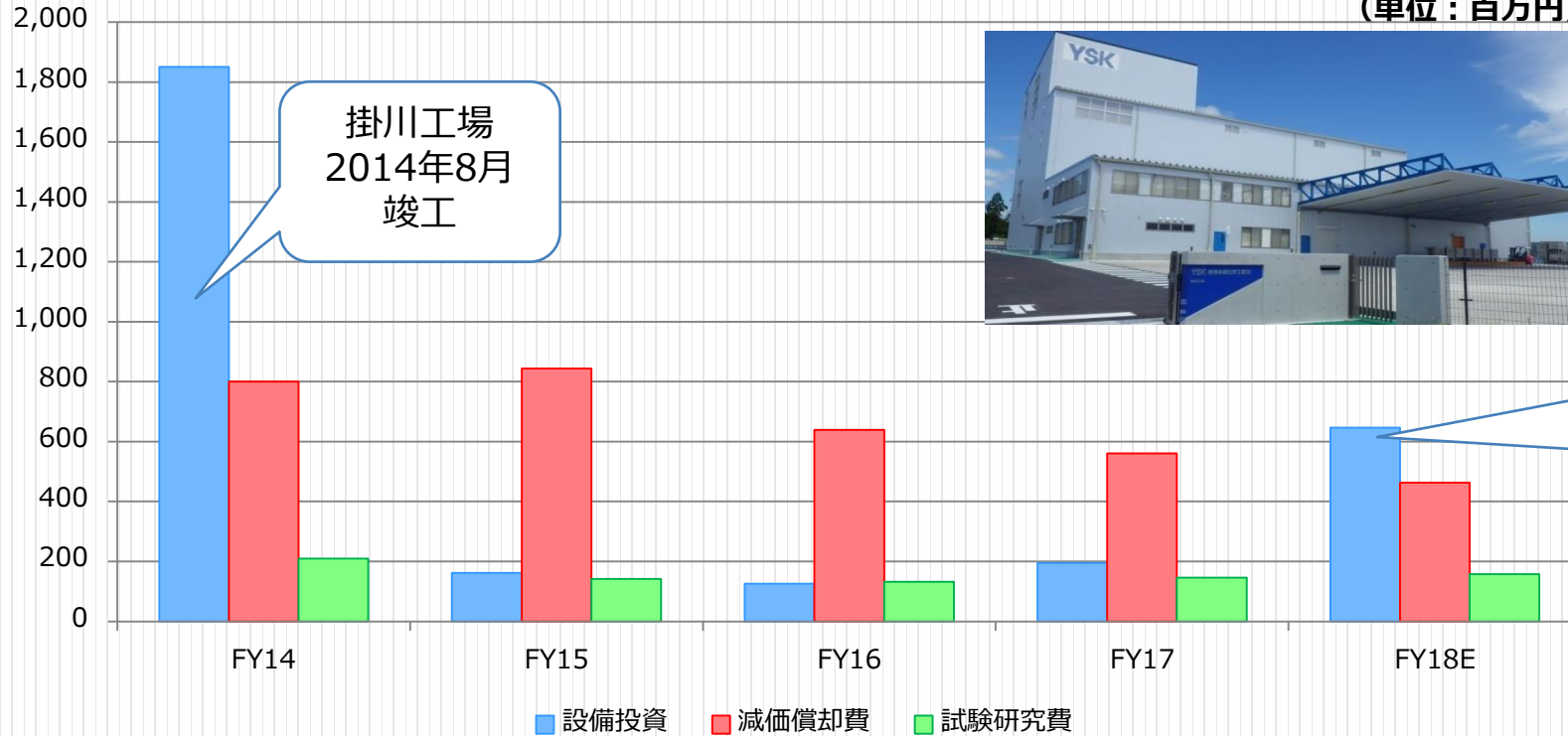
# 2019年3月期 連結営業利益 増減要因

(単位：百万円)



# 2019年3月期 設備投資、減価償却費、試験研究費

(単位：百万円)



(単位：百万円)

	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18E
設備投資	1,851	162	126	195	647
減価償却費	800	844	639	561	463
試験研究費	210	142	132	146	158

An underwater scene with a diver on the left and a large school of fish swimming towards the right. The background is a gradient of blue and cyan, with light rays filtering through the water. The YSK logo is positioned in the upper right corner.

YSK

焼津水産化学工業グループは  
天然素材の持つ  
無限の可能性を追求し、  
“おいしさと健康”を通して  
豊かな生活に貢献します。

## 注意事項

当資料には計画や見通し等が含まれています。こうした記述は、現在入手可能な情報をもとに当社が計画・予測したものです。将来の業績、経営方針などは、環境等の変化に伴い、変化があることをご留意ください。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等につきましては、当社は一切の責任を負うものではありませんのでご了承ください。

IR問い合わせ窓口

焼津水産化学工業株式会社

経営企画部 IRグループ

電話：054-202-6030

FAX：054-202-6031